　　　令和元年度　延岡市立名水小学校　自己評価書＜知育＞

**学校経営ビジョン**

**学校・家庭・地域の連携と共通理解・共通実践を基盤として、主体的・対話的で深い学びを目指した授業の積み重ねにより、確かな学力、たくましい心と体で、何事にも見通しをもって、積極的にチャレンジ・創造する態度を身に付けた児童の育成を図る。（チャレンジ、創造する児童の育成）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 重点  事項 | 具体的実践  (主な指導者：◎学校　○家庭　☆地域) | 評価方法 | 自己評価 | | | | 学校  関係者  意見 |
| 項目  別 | 総合 | 考　　　　察 | |
| 成果（○）　課題（●） | 改善点 |
| 知育 | 学力  向上 | ◎　陰山メソッドを取り入れた学力向上に対する取組  ◎　授業のめあてとまとめの提示・確認  ◎　基本的な学習訓練の実施による望ましい学習態度の育成  ◎　読書活動の推進  ◎　家庭学習の見届け  ○　ノーメデイアデー、家読の取組 | ・諸学力調査  ・単元末テスト  ・アンケート  ・諸記録  ・諸行事、集会  　等 | ３ | ３ | ○　隂山メソッドは児童に定着しており、明朗な発音の音読や集中力のある百ます計算などの様子が見られる。  ○　学習態度が身に付き、落ち着いて学習に臨むことができている。また、個に応じた課題を与え、課題解決を図ることができた。 | ・　読解力を育成する必要がある。全教科を通じて、読解力の素地を育んでいく。  ・　家庭学習のさらなる充実を図るために、啓発を継続していく。 | ○　小学校時代のうちに家庭学習の習慣を身に付けさせることが大切である。中学生になってからでは、難しくなる。  ○　午前中５時間授業の実施は、授業時数も確保できるのでよいと思う。 |
| 授業力  向上 | ◎　研究授業をもとにした実践的な研修  ◎　共通理解・共通実践による複式指導の充実  ◎　主体的・対話的で深い学びを目指した授業  ◎　合理的配慮に基づく一人一人のニーズに応じた適切な支援と指導 | ３ | ○　ガイド学習を取り入れた授業研究を進め、授業力向上を推進することができた。  ●　新学習指導要領を念頭に置いた指導がまだ十分ではない。今後、さらに研修を深めていく必要がある。 | ・　新学習指導要領のねらいを十分に理解した上で、それぞれの教科の特性を生かした指導を実践していく。 |

４段階評価（４･･･たいへんよい、３･･･おおむねよい、２･･･もう少し改善を要する、１･･･大いに改善を要する）

　　　令和元年度　延岡市立名水小学校　自己評価書＜徳育＞

**学校経営ビジョン**

**学校・家庭・地域の連携と共通理解・共通実践を基盤として、主体的・対話的で深い学びを目指した授業の積み重ねにより、確かな学力、たくましい心と体で、何事にも見通しをもって、積極的にチャレンジ・創造する態度を身に付けた児童の育成を図る。（チャレンジ、創造する児童の育成）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 重点事項 | 具体的実践  (主な指導者：  ◎学校　○家庭　☆地域) | 評価方法 | 自己評価 | | | | 学校  関係者  意見 |
| 項目  別 | 総合 | 考　　　　察 | |
| 成果（○）課題（●） | 改善点 |
| 徳育 | 場に応じた挨拶や返事等のコミュニケーションができること | ◎○　挨拶や会釈、返事の仕方等のコミュニケーションの具体的な指導の継続  ◎　土々呂小学校との交流でコミュニケーションを図る場の設定と見届け | ・観察  ・アンケート  ・自己評価 | ２ | 2.3 | ○　挨拶や返事の仕方等のコミュニケーションについて、継続的に指導をすることができた。  ○　以前よりも、児童の意識を高めることができ、挨拶等をする児童が増えた。  ●　まだまだ不十分の児童もいる。 | ・　挨拶や返事等のコミュニケーションの大切さについて指導を継続し、できたら誉めて意欲を高める。 | ○　交流学習を行っていることで、校外行事でも他校生と話している場面を見た。今後も継続してほしい。  ○　本校児童は、児童同士でも挨拶ができる。伝統として残したい。  ○　上級生が下級生に優しくしており、よい雰囲気ができている。 |
| きまりを守って過ごす態度の育成 | ◎　自ら考えて行動し、安全で健康な生活を送る態度の育成 | ３ | ○　きまりを守って、安全な生活を送ることができている。  ●　素直な児童が多いため、言われたから行っているところが多く、自分で考えて行動することがなかなかできていない児童が多いように感じる。 | ・　教員側がすぐに答えを与えずに、考える時間をしっかりと持たせる。 |
| 工夫ややりがいのある主体的な委員会活動の実践 | ◎　よりよい名水小にするため、主体的・創造的に意見を出し合い、実行に移す態度の醸成  ◎　日常の活動の見届けと声掛け  ○　家庭の一員としての仕事（手伝い）の見届け | ２ | ○　話合い活動を上手に進めることができる。  ●　学級での話合いや委員会活動での話合いで、決まったことを実行に移す力が弱い。他人任せにしているところを感じることがある。 | ・　だれが、何　を、どうするなどの具体的なところまで話合い活動で決め、児童に活動の見通しをもたせる。 |

４段階評価（４･･･たいへんよい、３･･･おおむねよい、２･･･もう少し改善を要する、１･･･大いに改善を要する）

　　　令和元年度　延岡市立名水小学校　自己評価書＜体育＞

**学校経営ビジョン**

**学校・家庭・地域の連携と共通理解・共通実践を基盤として、主体的・対話的で深い学びを目指した授業の積み重ねにより、確かな学力、たくましい心と体で、何事にも見通しをもって、積極的にチャレンジ・創造する態度を身に付けた児童の育成を図る。（チャレンジ、創造する児童の育成）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 重点事項 | 具体的実践  (主な指導者：◎学校　○家庭　☆地域) | 評価方法 | 自己評価 | | | | 学校  関係者  意見 |
| 項目  別 | 総合 | 考　　　　察 | |
| 成果（○）課題（●） | 改善点 |
| 体育 | 体力及び運動技能の向上 | ◎　体力向上プランを生かした課題改善の取組  ◎　発達段階に応じた学年部別指導の充実  ◎　体力向上につながる昼休み時間の運動の奨励   * 体育備品の整備、補充、工夫   ○　体力向上につながる運動生活習慣の奨励 | ・県体力  　調査  ・体育技能  　記録  ・自己評価  ・観察 | ３ | ３ | ○　1・2年、4・6年の充実した学年別指導ができた。  ○　必要に応じた体育備品の整備・補充ができた。  ●　体力向上プランを活用しきれていなかった。  ●　昼休み時間の運動の奨励があまりできていなかった。 | ・　職員での体力向上プランの共通理解・実践を行う。  ・　昼休み時間の運動につながる遊びの提案を行う。 | ○　ｅスポーツの例もあるように、ゲームが一概に悪いとは言えないが、世界とつながる危険性や生活が乱れやすくなることを理解することが大切である。  ○　安全については、「揺れたら津波」「一人でも逃げる」という意識をもたせてほしい。 |
| 健康な心と体の育成と自他の命を大切にする力の育成 | ○　「早寝・早起き・朝ご飯にみそ汁」の定着  ◎　睡眠時間の確保とゲーム抑制の啓発  ○　家庭での歯磨きの習慣化  ◎　すくすくカードでの家庭との情報交換  ◎　自分の体を知り、問題意識をもたせる保健指導の実践  ◎　心の健康面を重視した働きかけ  　・　自己肯定感の育成  　・　コミュニケーション力の育成 | ・欠席等  　統計  ・観察  ・自己評価 | ３ | ○　学校保健委員会で「元気になる食べ物」の授業を実施し、実践化につなぐことができた。  ○　誕生給食で、存在感のアピールに取り組み、自己肯定感の育成を図った。  ●　ゲーム抑制の指導を行ったがなかなか改善されなかった。 | ・　生活リズムと合わせたゲーム抑制の啓発を行う。  ・　困ったときにNOやSOSを発信できるようにする。 |
| 安全意識・態度の育成 | ○　場に応じた主体的な思考、判断、行動ができる力の育成  ○　日常の危機意識を高める実践 | ・観察 | ３ | ○　地震や火災等の訓練に加え、予告無し避難訓練や不審者対応訓練ができた。 | ・　より多様な状況での避難訓練を行う。 |

４段階評価（４･･･たいへんよい、３･･･おおむねよい、２･･･もう少し改善を要する、１･･･大いに改善を要する）